

みんな元気！ 7/15

本社移転

6月29日より本社内の居宅介護支援事業部、訪問介護事業部、福祉用具事業部が、これまで相談室、休憩室倉庫として使用していた隣の事務所へ移転しました。これまでより若干狭くなりましたが、感染予防の取れた配置。床に配線が無く足元がスッキリとした新事務所となっております。また休憩室、倉庫はデイサービス2階へ移動したことで、これまで少なかった通所介護事業部との交流に繋がっております。窮屈な面もありますが、その分これまで以上にチームワークを持って取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いたします。

社内定期PCR検査について

6月に実施した社内定期PCR検査の結果は、今回も全従業員が陰性でした。

7月は7/27(火)が実施日となります。引き続きよろしくお願いたします。

新型コロナワクチン接種のQ&A

Q ワクチンの接種回数と効果は？

A ファイザー社製ワクチンは、20日の間隔をおいて2回目を接種し、2回目の接種から7日目以降における発症の予防効果は約95%。モデルナ社製ワクチンは、27日の間隔をおいて2回接種し、発症予防効果は94%。

Q 変異株にも効果はありますか？

A ウィルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチン効果がなくなる訳ではありません。

Q 集団免疫とは何ですか？

A 感染症は、病原体(ウイルスや細菌など)が、その病原体に対する免疫を持たない人に感染することで流行します。人口の一定割合以上の人々が免疫を持つと、感染患者が出て、他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られます。この状態を集団免疫と言います。社会全体が感染症から守られることとなります。なお、感染症の種類によって、集団免疫を得るために必要な免疫を持つ人の割合は異なります。また、ワクチンによっては、接種で重症化を防ぐ効果があっても感染を防ぐ効果が乏しく、どれだけ多くの人に接種しても集団免疫の効果を得られないこともあります。新型コロナワクチンによって集団免疫の効果があるかどうかは分かっておらず、分かるまでには、時間を要すると考えられています。

Q ワクチン接種後に新型コロナウイルスに感染することはありますか？

A ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合があります。また、ワクチンを接種して免疫がつくまでに1~2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではありません。

Q ワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬を飲んでよいですか？

A ワクチンを受けた後の発熱や痛みに対し、市販の解熱鎮痛薬で対応いただくことも考えられますが、ワクチンを受けた後、症状が出る前に、解熱鎮痛薬を予防的に内服することについては、現在推奨されていません。

Q アナフィラキシーではどのような症状が出ますか。治療法はありますか？

A 薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合を、アナフィラキシーショックと呼びます。

Q 副反応による健康被害が起きた場合の補償はどうなっていますか？

A 健康被害が予防接種によるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。給付額は、定期接種のA類疾病と同じ水準です。